

キキョウ  
「桔梗」(キキョウ科)

北海道～九州の日当たりの  
良い草地に生える多年草。  
秋の七草に登場する「朝顔  
の花」は本種ではないかと  
いわれている。



# 箱根湿生花園の 花だより

2018年7月15日 発行

標高約 650m の仙石原でも汗ばむ陽気が続くようになってきました。しかし、園内では吹き抜ける風に高原の爽やかさを感じられます。木道を歩くと、仙石原湿原の夏を彩るカセンソウやコオニユリなどの可憐な花が咲き誇っています。特設会場では、7月21日から「世界の食虫植物展」を開催しています。



子供たちにも人気のハエトリグサやウツボカラなどの食虫植物を約 100 種 700 点を展示しています。開催期間は9月9日までで、期間中にはミニ教室・即売会を開催します。この機会に食虫植物を学び、育ててみませんか？  
ミニ教室 日時：8/18 (土)～8/24 (金) 13:30～ 約30分間  
即売会 日時：8/25 (土)、8/26 (日) 9:00～17:00



## Pick Up ヤマユリ 「山百合」 ユリ科

ヤマユリは近畿地方以北の山地や丘陵に生える多年草です。花は野生種のユリの中で最も大きく、強い芳香を漂せながら咲きます。花被片は白色で、赤褐色の斑点があり、中脈には黄色のすじが入ります。自家受粉でよく結実しますが、種子から花が咲くまで4～5年かかるといわれています。球根は大きく苦味が少ないため、古くから食用として利用されてきました。

神奈川県においては、箱根や丹沢、三浦半島などで多く自生しています。昭和26年には「県の花」に制定されました。7月15日現在、園内のヤマユリはほとんどが蕾の状態ですがおそらく5日後くらいには一番花が楽しめそうです(左の写真は昨年7月下旬に撮影したものです)。



## フシグロセンノウ 「節黒仙翁」(ナデシコ科)

本州～九州の山地に生える多年草。名前の由来は、節の一部が紫黒色を帯びることから。

## File 7 ミドリシジミ 鱗翅目 シジミチョウ科

輝く緑色の翅が人気のミドリシジミのご紹介です。幼虫は湿地に生えるハンノキを主に食草にしていることから、ハンノキ林を生息地にしています。オスは夕方になると活動し、他のオスと出会うと「卍飛翔」と呼ばれるデトリリーの奪い合いが始まります。園内の高層湿原区などで、この飛翔を観察することができます。お互いくると回りながら飛ぶ姿は大変美しく、迫力があります。また、湿生花園に隣接する仙石原湿原では、ハンノキ林が保全されており、神奈川県下でも貴重な生息地になっています。



## Botanical Gallery



### コオニユリ

北海道～九州の山地草原に生える多年草。オニユリと異なり、むかごがつかず、花が小型なのが特徴。



### エゾリンドウ

北海道～本州(中部地方以北)の深山の湿地帯などに生える多年草。花数が多く茎が太いため、切り花用に栽培される。



### ソバナ

本州～九州の山地の草原や林縁に生える多年草。若い葉や茎は、山菜として利用される。



### ナガボシロワレモコウ

北海道～九州(東北地方、関東地方)の湿った草地に生える多年草。花は花弁がなく、上から咲き進む。



### チダケサシ

本州～九州の山野のやや湿った場所に生える多年草。園内各所にあり、淡紅色の小花を多数つける。



### ジャコウソウ

北海道～九州の山地の谷間の湿り気のある場所に生える多年草。名前の由来は、茎葉をゆすと麝香の香りがするというところから。



## カセンソウ「歌仙草」(キク科)

北海道～九州の日当たりの良い山野の湿地に生える多年草。仙石原湿原植生復元区ではカセンソウの群生を観察できます。

## ご利用案内

通常営業 9:00～17:00 (最終入園 16:30)  
大人(中学生以上) 700円 小人(小学生) 400円

## アクセス

小田原駅または、箱根湯本駅より箱根登山バス(湖尻・桃源台行)“仙石案内所前”下車、徒歩8分。強羅駅より箱根登山バス(湿生花園行)終点下車。東名高速道路・御殿場ICより、車で20分。

Hakone Botanical Garden of Wetlands

# はこね湿生花園

〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 817

<http://hakonekanko.com/>